# 平成25年3月期

# 第2四半期決算說明資料



http://www.i-kkco.jp

## 決算説明資料の構成

- 1. 平成 25 年 3 月期第 2 四半期決算概要
- 2. 平成 25 年 3 月期通期業績予想
- 3.会社概要
- 4. セグメント別技術・新製品開発

## 1. 平成25年3月期第2四半期決算概要

## ISHII TOOL & ENGINEERING CORP.

## 1.最近5年間の業績の推移

回 次	第 31 期	第 32 期	第 33 期	第 34 期	第 35 期
決 算 年 月	第2四半期	第2四半期	第2四半期	第2四半期	第2四半期
売 上 高(千円)	2,148,074	540,320	1,521,333	1,147,867	1,116,375
売 上 総 利 益 又は売上総損失(Δ)	668,811	285,432	419,813	63,146	118,744
販売管理費及び 一般管理費(千円)	347,114	352,921	345,966	311,045	287,874
営業利益又は 営業損失(Δ)	321,697	638,353	73,846	247,899	169,130
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失(ム) <sup>(千円)</sup>	338,613	634,121	120,015	224,462	158,137
四半期純利益又は 四半期純損失(Δ) <sup>(千円)</sup>	167,987	637,827	141,316	194,271	223,767
<b>資 本 金</b> (千円)	1,186,300	1,186,300	1,186,300	1,186,300	1,186,300
発行済株式総数(千株)	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800
純 資 産 (千円)	7,298,749	6,262,813	6,108,625	5,561,052	5,133,359
総 資 産(千円)	8,683,655	7,160,321	7,259,106	6,593,115	6,187,224
1株当たり純資産額 (円)	938.89	805.68	785.86	715.42	660.43
1株当たり四半期純利益 又は四半期純損失(Δ) (円)	21.61	82.05	18.18	24.99	28.79
自己資本比率(%)	84.1	87.5	84.2	84.3	83.0
営業活動によるキャッシュフロー (千円)	653,917	159,344	390,069	187,125	38,086
投資活動によるキャッシュフロー (千円)	123,438	252,745	65,188	9,066	135,870
財務活動によるキャッシュフロー (千円)	116,539	68,259	172	76,947	46,335
現金及び現金同等物残高 (千円)	2,149,075	2,306,997	2,226,790	1,740,949	1,289,790
<b>従 業 員 数</b> (名)	278	280	270	263	256



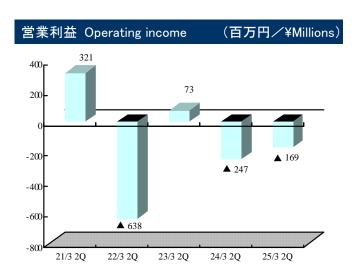
#### 测財政状態 Financial Condition

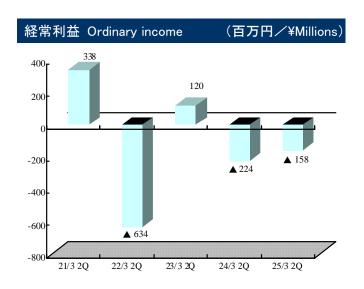


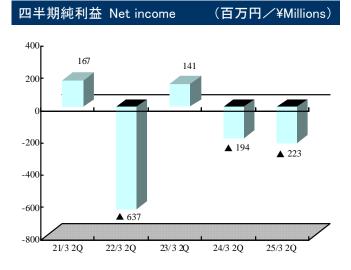


## 

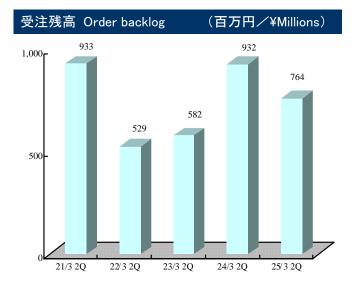






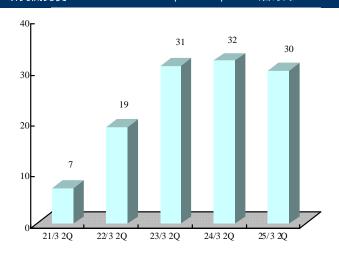


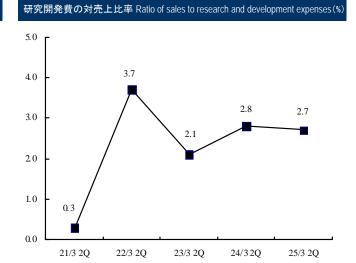




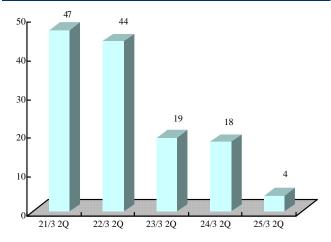
#### ※設備投資額・研究開発費等指標 Capital expenditures/Research and development expenses Data

#### 研究開発費 Research and development expenses(百万円/¥Millions)





#### 設備投資額 Capital expenditures(百万円/¥Millions)



注 リース取得価額相当額を含む

# 減価償却費 Depreciation (百万円/¥Millions) 100 96 98 77 40 20 21/3 2Q 22/3 2Q 23/3 2Q 24/3 2Q 25/3 2Q

注 支払リース料における減価償却費相当額を含む



## **测収益性指標 Profitability**

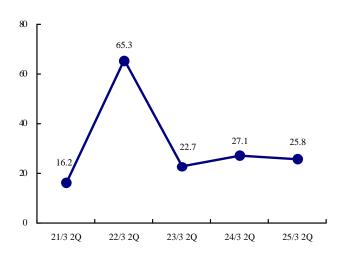








販管費の対売上比率 Ratio of sale to selling, general and administrative expenses (%)

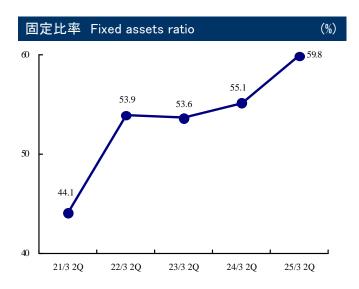


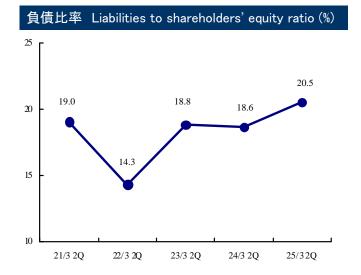


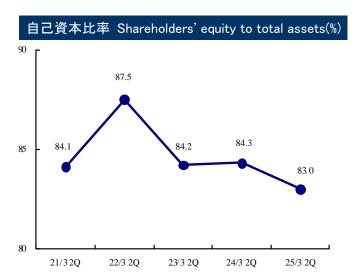
## 









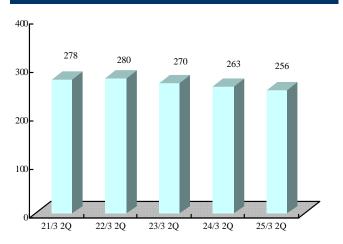


## ‴従業員1人当たり指標 Per employee Data

#### 従業員 1 人当たり売上高 Net sales per employee(百万円/¥Millions)

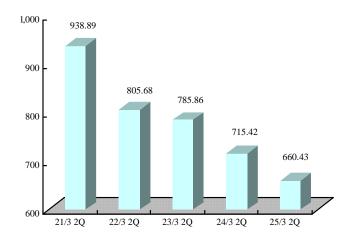
## 

#### 期末従業員数 Number of employees at fiscal year-end(人/persons)

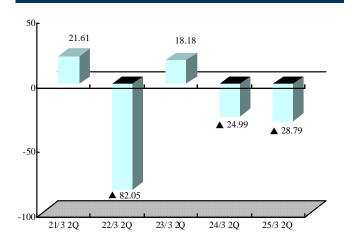


#### **‴1 株当たり指標 Per share Data**

#### 1 株当たり純資産額 Shareholders' equity per share (円/¥)



#### 1 株当たり四半期純利益 Net income per share (円/¥)



## 2.セグメント別販売実績

セ	グメントの名称	販 売 高	前年同四半期比(%)	
半導位	本関連事業(千円)	1,112,733	99.1	
そ	の 他(千円)	3,641	14.4	
合	計 (千円)	1,116,375	97.3	

(注) 1. 最近2事業年度の主な相手先別の販売実績及び当該実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

なお、当該割合が100分の10未満の場合は記載を省略しております。

	相手		<b>д</b> -	前第2四半	期累計期間	当第2四半期累計期間	
	相	士	先	金額 (千円)	割合(%)	金額 (千円)	割合(%)
第	_	実	業(株)	471,336	41.1	338,572	30.3
Ξ	菱	電	機(株)			137,211	12.3
三井	<b></b>	ミエレクト	口が(株)			120,261	10.8
三	菱電榜	幾クレシ	゛ット(株)			117,250	10.5

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 3.セグメント別受注状況

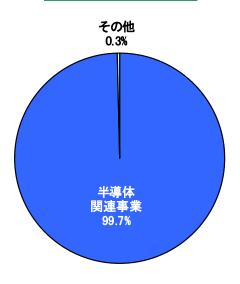
t-	セグメントの名称		受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
半導	体 関 連	事業	1,306,477	95.9	759,394	81.9
そ	Ø	他	8,723	34.5	5,300	101.8
	合 計		1,315,201	94.8	764,694	82.0

(注)上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

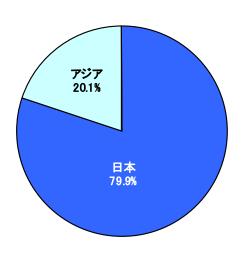


## 売上高及び受注高構成(25年3月期第2四半期)

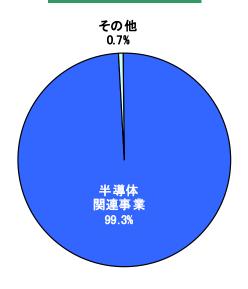
セグメント別売上高



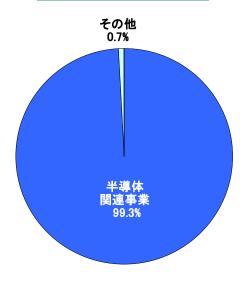
地域別売上高



セグメント別受注高



セグメント別受注残高



# 2. 平成25年3月期業績予想

## ISHII TOOL & ENGINEERING CORP.

## 第35期(平成25年3月期)の利益計画 a.利 益 計 画 表

(単位:千円)

		#0	nu .					(半位,十门)
項	目	期	別 ——	第34		第35期 <sup>-</sup> (25年3)		増減
売		E	高	2,352,886	100.0	3,000,000	100.0	647,114
売	上	原	価	2,169,724	92.2	2,535,000	84.5	365,276
売	上 糹	総 利	益	183,162	7.8	465,000	15.5	281,838
販売	管理費及	び一般管	理費	611,717	26.0	590,000	19.7	21,717
営	業	員 失(	)	428,555	18.2	125,000	4.2	303,555
営	業	小 収	益	40,206	1.7	17,000	0.6	23,206
営	業が	小 費	用	674	0.0	2,000	0.1	1,326
経	常	員 失(	)	389,023	16.5	110,000	3.7	279,023
特	別	利	益	895	0.0	-		895
特	別	損	失	45	0.0	92,000	3.1	91,955
税引	前当期	純損失(	)	388,174	16.5	202,000	6.7	186,174
法人	人 税 及	び住民	3 税	4,736	0.2	5,000	0.2	264
過年	度法人	税等戻力	入額	-	-	-	-	-
法。	人税等	等 調 整	額	29,449	1.3	22,000	0.7	7,449
当	期純	損失(	( )	363,460	15.4	185,000	6.2	178,460

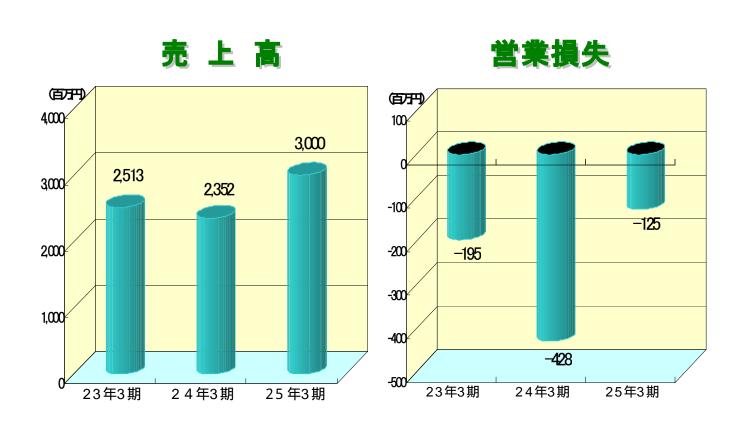
## b. 販売高のセグメント別内訳

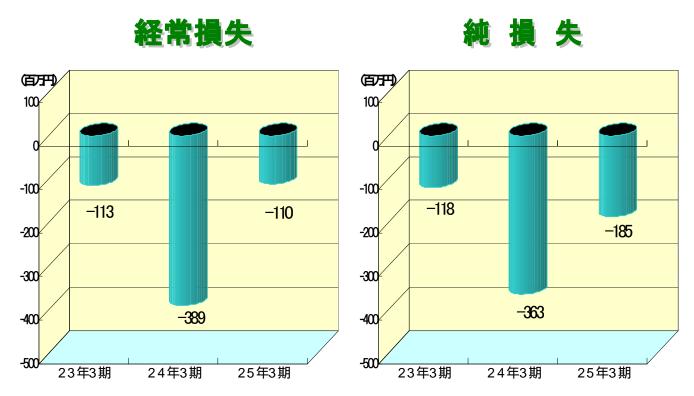
(単位:千円)

セグメント	期 へ の名称	別	第34期 (24年3月期)	第 3 5 期予想 ( 2 5 年 3 月期)	増減
半導体	閣 連	事業	2,319,474	2,968,000	648,526
そ	の	他	33,411	32,000	1,411
合		計	2,352,886	3,000,000	647,114

(注)本資料に掲載されている業績予想、見通し、事業戦略につきましては、現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。

## 25年3月期の目標





## ISHII TOOL & ENGINEERING CORP.











## 1. 当社の経営基本方針

当社は、「たゆまず前進する技術と創意工夫によって社会に貢献する」ことを経営理念としております。そして、「正しい見識を持って意欲的に即行動し新しい価値を生む」ことを行動理念とし、「ユーザーに深く感謝する精神で早く良いものを安くに徹する」ことを経営方針として業務に取り組んでおります。

当社は、半導体関連事業として半導体製造後工程装置やその精密金型の開発、設計、 製造及び販売を行なっており、低騒音、省エネルギー、省スペース(小型化)をコン セプトとして切断・成形、マーキング、製品検査等を対象領域とする機器を提供して おります。

また、主事業である半導体関連事業に加えて、個人住宅の建築販売及びホームエレベータの製造販売・太陽光発電装置の販売を行なう不動産事業等の展開・拡大に努めます。



## 2.会社の概要

商 号 株式会社 石井工作研究所

(英訳名 ISHII TOOL & ENGINEERING CORPORATION. )

本 店 大分県大分市東大道2丁目5番60号

設立年月日 昭和54年(1979年)1月5日

事業内容

tグメント の名称	区分	主要営業品目
	半導体関連 製造装置 及び金型	リード加工機 (BGA・CSP個片カット装置を含む) リード加工金型
半導体関連	加工部品	プラスチック成型加工品 プレス加工品
事業	電装品	マイクロコンピューター 電装装置
	その他	購入品 補修サービス
その他	マンション 及 び 住 宅	個人住宅・住宅用ホームエレベータ 太陽光発電装置
て の iii	浄水装置	活水装置、海域·水域浄化装置 養殖場浄化装置

資 本 金 1,186,300,000 円 (平成24年9月30日現在)

株式の状況 会社が発行する株式の総数 30,000,000株

発行済株式総数 7,800,000株(平成24年9月30日現在)

1単元の株式数 100株

決 算 期 3月31日(年1回)

役 員 代表取締役社長 石 井 見 敏

取締役石 井 光 明取締役辻 野 治 弘取締役吉 田 彰 憲監査役(常勤)衛 藤 良 一

 監査役
 後藤末弘

 監査役
 姫野昭雄

従業員数 256名(平成24年9月30日現在)

(従業員には、臨時従業員(準社員)11名を含んでおりません。)

主要取引銀行 株式会社 大 分 銀 行 本 店

株式会社 三井住友銀行 大分支店

三井住友信託銀行株式会社 大分支店

## ISHII TOOL & ENGINEERING CORP.

#### 大 株 主

(平成24年9月30日現在)

±± → Ø	当 社 へ の	出 資 状 況
株主名	持 株 数	持 株 比 率
有限会社テクトロン	千株 1,660	% 21. 35
石 井 見 敏	1, 311	16. 87
石 井 工 作 研 究 所 従 業 員 持 株 会	872	11. 22
石 井 貞 憲	149	1. 91
石 井 光 明	145	1. 87
石 井 仁 海	138	1. 78
株式会社大分銀行	124	1. 60
株式会社ジャフコ	68	0. 88
松 浦 兼 昭	61	0. 78
渦 尾 洋 之	56	0. 72

(注)持株比率は、自己株式(27,230株)を控除して計算しております。



## 3 . 会社の沿革

年 月	概	要
昭和 54 年 1 月	(株)石井工作研究所設立(資本金 10,000 千円)。前身であ	ある個人企業石井工作研究所より人員その他すべて
	を引継ぎ、精密金型、半導体関連製造装置の開発、設計	ト、製造、販売を主業務とした事業を開始。本社及び
	本社工場(旧大分工場)を大分県大分市東大道2丁目1番	番3号に置く。
昭和 54 年 6 月	金属及び非金属材料販売を行なうため丸善通商㈱設立。	
昭和 55 年 10 月	数値制御による機械加工を集約するため㈱大分エヌシー	センター設立。
昭和 56 年 4 月	熊本及び福岡での販売を強化するため熊本県熊本市に	熊本営業所開設。
昭和 56 年 5 月	当社及び関連会社の不動産管理のため大分県大分市に	何石井工研産業設立(後、株式会社へ組織変更)。
昭和58年12月	丸善通商㈱を㈱九栄システム(現北九州工場)に商号変	更するとともに本社を北九州市門司区に移転。
昭和 59 年 1 月	業容の拡大と合成樹脂製品製造、販売のため、大分県	テクノポリス地域の指定を受けた大分県杵築市に杵
	築工場開設。	
昭和 60 年 2 月	関西及び関東以北での販売を強化するため、大阪事務	所を大阪市北区に東京事務所を東京都新宿区に開
	設。	
昭和 61 年 3 月	半導体組立工程の5工程(①リードフレームからの切り離	し ②足の折り曲げ ③性能テスト ④製品名などの
	印刷 ⑤分類)を一貫処理できる半導体自動組立装置「F	PTMD300」を(財)大分県高度技術開発研究所をはじ
	め、大分工業高等専門学校や大分大学と共同開発。	
昭和61年8月	半導体製造用の低騒音、超小型のNCモータープレスの「	ソフトプレス」を開発。
昭和61年11月	日本国内での販売を強化し、新製品販売促進のため東京	京晴海での半導体製造装置展示会"セミコン・ジャパ
	ン 86"に初めて出展。	
平成3年10月	経営の合理化と経営効率を図るため、㈱大分エヌシーセ	ンター、㈱九栄システム及び㈱石井工研産業を吸収
	合併。	
平成4年3月	当社の「ソフトプレス」を使った半導体製造の後工程一貫	製造装置が、「第4回中小企業優秀新技術・新製品
	賞」(協和(現りそな)中小企業振興財団・日刊工業新聞共	k催)を受賞。
平成4年9月	「IC検査用画像処理装置」を開発。	
平成5年7月	アメリカでの世界最大の半導体製造装置展示会"セミコン	・ウエスト 93"に初めて出展。
平成5年9月	本社ビル完成。	
平成7年4月	大阪事務所及び東京事務所を各々営業所に名称変更。	
平成8年8月	当社株式を日本証券業協会の店頭売買有価証券として	<b>登録。</b>
平成9年2月	ISO9001 認証取得及びCEマーキングライセンス権取得。	
平成 12 年 8 月	ISO14001 認証取得。	
平成 13 年 6 月	北九州工場を北九州市小倉北区に土地・建物を取得して	移転。
平成 13 年 8 月	不動産事業を開始。	
平成 14 年 1 月	浄水事業を開始。	
平成 15 年 11 月	大分曲工場第一期工事完成。	
平成 16 年 12 月	日本証券業協会への店頭登録を取消し、ジャスダック証券	<b>券取引所に株式を上場。</b>
平成 17 年 12 月	大分曲工場第二期工事完成。	
平成 18 年 2 月	大分工場、大分羽田工場の大分曲工場移転完了。	
平成 18 年 7 月	本社所在地を大分県大分市東大道2丁目5番 60 号に住	所表示変更。
平成 21 年 4 月	北九州工場及び大阪営業所を閉鎖。	
平成 21 年 6 月	東京営業所を東京都港区の新築自社店舗に移転。	
平成 22 年 4 月	ジャスダック証券取引所と大阪証券取引所の合併に伴い	、大阪証券取引所JASDAQ(現 大阪証券取引所
	JASDAQ(スタンダード))に上場。	

## 4. 営業所及び工場

① 本 社 大分県大分市東大道2丁目5番60号

② 営 業 所

東 京 営 業 所 東京都港区

熊 本 営 業 所 熊本県熊本市

③ 工 場

大 分 曲 工 場 大分県大分市

杵 築 工 場 大分県杵築市

# 4. 也分外別技術。新製品開発

## < 半導体関連事業 >

## 最新開発商品 New Product

#### レーザーバリ取り装置

Laser Deflashing System

- ・レーザー光でパッケージ周辺の余分なレジンバリを除去します。
- ・モールドズレを画像認識で位置補正し、高精度加工します。
- ・金型では除去が厳しい微小加工が可能で、また、金型を使用しない為、 消耗部品が不要です。



#### 大型MAP基板 レーザーマーク装置

Laser Mark System for Large size MAP

- ・製品搬送ユニットに基板反り矯正機構を持たせ、反りの有る 大型MAP基板のマークに最適です。
- ・マークされた製品は静電ブロー&ブラシクリーニングされ マーク品質を画像認識で検査します。
- ・リードフレームのマークにも対応します。



## 小型ハンドプレス

Table Top Hand Press

- ・高剛性角ポストを使用したコンパクト低価格なハンドプレスです。
- ·手動加圧で高圧力加工でき、半導体パッケージの個片切断、 薄板の打抜き、折り曲げ等の簡易プレス工程に最適です。



## 大型装置(従来に比べて大型)

・大分曲向上完成に伴い、半導体分野以外の液晶組立装置や、 車載用部品組立装置の製作を開始しました。



お問合せは、本社営業課、東京営業所、熊本営業所、または hsales@i-kk.co.ip まで。 Contact us at Headquarter sales, Tokyo sales office, Kumamoto sales office, or hsales@i-kk.co.jp for any

## < その他 >

## 水質浄化装置

【 開発 / 製造 / 販売 】

池・貯水池・ダム・湖沼・河川・海域などの様々な条件下に対応するため、実験/開発を行っています。

- 平成 16 年 アオコ対策 大分県 芹川ダム [企業局] 実験中
- 〇 平成 17 年 大規模水域浄化・アオコ対策 愛媛県 鹿野川ダム [国土交通省] 実験中 【環境省 環境技術実証モデル事業 湖沼等水質浄化技術分野 湖沼等水質浄化技術実証試験】

国土交通省 国土技術政策総合研究所 ダム技術提案登録№20040446

#### アオコ処理型ゴミ回収船



#### 漂流物を回収しながらアオコを殺藻

回収船で航行しながら風で移動していく集積アオコを超音波とオゾンで処理し、漂流物(ゴミ)などを回収できます。 広範囲に亘りアオコの回収が可能となりました。

ロ オゾン発生装置 (MOL-3) 搭載

## 数々の実績と信頼の噴流型循環装置

循環による浄化法でアオコの発生や異臭などを抑止します。 密度の違いによる成層を乱流混合で破壊し底層の貧酸素 状態を改善します。

小さな力で広範囲の水を動かし水質保全をします。



#### アルジーハンター

□ オゾン発生装置 (MOL-3) 搭載



## 【超音波殺藻装置】 水面に浮かぶアオコを処理します。

夏期に水面に浮かび異臭を放つ集積アオコを吸入し 超音波とオゾンで処理します。

超音波による処理で平均殺藻率 65%という好結果が 得られました。 (G調整池での計測結果より)

□ オゾン発生装置 (MOL-1) 搭載

浮体型太陽光発電システム



#### 水面上で発電する太陽光発電システム。

水域の有効利用と遮蔽による藍藻類の抑制に役立ちます。 浄化装置との連系設置可能! 4.5kW の太陽電池を搭載し 浮体数を増やすことができ大容量の発電も可能です。

○ 多結晶モジュール搭載 ○ 傾斜角による高効率発電が可能

## 太陽光発電

【施工/販売】

## 産業用太陽光発電システム

県内民間第1の規模を誇る300kW太陽光発電システムを自社工場に設置しております。 (大分曲工場1号棟250kW、2号棟50kW モジュール枚数計2,155枚)



大分曲工場航空写真

二酸化炭素削減効果(年間)は190,000kg-CO2

「190,000 kgって言われても・・・」 例えば1本の杉が1年間に CO2 を吸収する量は 14 kgとされています。

杉の木を 13,500 本植林したことになります。

〇 乗用車走行距離削減量換算すると・・・820,000km/年



地球を約20周できる距離です。

無尽蔵に降り注ぐ太陽エネルギー

太陽光発電システムはこれからの未来を切り開きます。



## 主宅用太陽光発電システム

#### 住宅用太陽光発電システムとエコ・オール電化で光熱費を削減!

エコ・オール電化とはヒートポンプ式電気給湯機 を利用した省エネ・オール電化のことです。 昼間は太陽光発電システムで発電し連系又は売電します。 夜間に安い電気料金でお湯をエコキュート で沸かして溜めておきます。



寄棟用 3.4k W太陽光発電システム

## ホームエレベーター



2階・3階用ホームエレベーター 製造/販売 高性能エレベーターを低価格でお届けします。

安心・安全設計で使いやすさを追求しました。



- ○非常用予備バッテリーを標準装備
- ○タッチパネルを採用しました。
- ○高性能サーボモーターを搭載
- ○ボールネジ式駆動で安心・安全
- ○省スペースで取り付け簡単
- ○電気代は1日8円程度





大きく見やすいタッチパネルで操作 が簡単に行えます。



## エマージェンシーパネルを搭載

非常電灯、電話回線ジャック、100V 電源を装備し緊急時の安全を確保し ています。



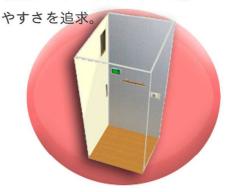
## 窓部

ドア部には、小窓を標準装備



## 内装

標準タイプ側面は、アルミ製板を 利用シンプルなデザインで扱い



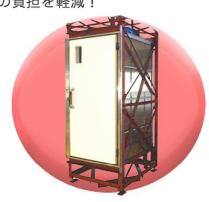
## 握り易い手すりを標準化

お年寄りやお子様が身体を支える ことができ手触りのよい木製を利 用しています。



## 省エネを追求した設計

カゴ部の軽量化を図り稼動時 の負担を軽減!



## 本資料に関するお問い合わせ



## 株式会社 石井工作研究所 ISHII TOOL & ENGINEERING CORP.

I R担当者

TEL : 097-544-1001

E-mail: tujino@i-kk.co.jp

: tokieda@i-kk.co.jp